

特集

子育て・
子どもの成長

フラクタル心理学は人生運転メソッド — 受講生の感動ストーリー 1

TAWプレスでは毎号、フラクタル心理学を生かして人生をバージョンアップした方たちの感動ストーリーをお届けします。今回は、フラクタル心理学を活用してお子さんの成績が伸びたり、志望校に合格したりした方たちからお聞きしたお話をします。

普通だった成績が8科目中7科目でAに

特別扱いをやめると、学校の成績も水泳のタイムも大きく伸びました。

■ 依存心と特別扱いされたい思いを変える

3人の男の子の母親ですが、優れた子に育てなくてはという思いから、3人とも国立の幼稚園、小学校に通わせていました。長男は小学4年生で学校の他にも英語塾、プログラミング、水泳、有名学習塾に行っていましたが、積極的にやるでもなく、学校の成績も水泳のタイムも今ひとつでした。

昨年初めにフラクタル心理学のマスタークラスを受講すると、初級で両親に対する思いを見ていくワークをしました。深層意識の私は仕事を持つ母に「十分に世話してもらっていない」と思い、姉もいたのに、「自分だけ特別扱いしてもらいたい」と思っていたとわかりました。甘えん坊で依存的な長男はまさに私自身の姿で、私が特別扱いしてもらいたかったので、子どもを特別扱いしてきたとわかりました。

依存心を変えるために、私は実母を頼りにするのを止めました。三男が幼稚園に行き始めると、午前中に迎えに行かねばならず看護師の仕事を辞めましたが、「仕事をしたくないのでは?」と講師から言われて怠慢な自分に気づきました。「能力をあげるために仕事をする!」と決意すると、近所のリハビリ施設で機能訓練士としての職が見つかりました。

それから、私は幼い頃から喘息があり、その度に母は仕事を休んで世話をしてくれました。これも「弱者になって人のエネルギーを奪っている」「世話してもらいたいと、世話されたい人が現れる」と指摘されました。職場では、具合が悪くなる人が多く、その分の仕事を肩代わりしていましたし、長男もやりたくない、すぐに体調を崩していたのです。

講師から「パンチ法^{*}をしなさい」とすすめられ、シャドーボクシングの要領でパンチを繰り出しながら深層意識の自分に「甘えるな、依存するな、弱者になるな!」と心の中で言い続けました。さらに、深層意識の修正法で、特別扱いされたい思いを減らす言葉を自分自身に伝えました。

■ コツコツ積み上げることで能力がついた

日曜日以外は毎日塾の送迎をしていましたが、私が母に対して「母親はそばで見守るべき」と思っていたので、私もそうしていました。フラクタル心理学で「愛とは自立を促す

もの」と知り、長男にどうするか決めるように言うと、長男は「近くのスイミングと英語塾だけは自分で通う」と自分で決めました。

3ヵ月ほどすると、職場で依存する人がいなくなりました。長男は水泳のタイムが伸びて、一番下のクラスから最強チームに入り、大会で入賞するようになりました。英語も真剣にやり、弱音を吐いて体調を崩すこともなく、目標を決めて積極的に取り組むようになったのです。

私はPTAの役員もしていましたが、傲慢さを直すには、「人の下に入ることをしないとダメ」と講師から言われていました。仕事では一番下で雑用が多く、辛いこともありましたが徐々にステップアップしています。

私がコツコツ積み上げていくと、長男も同じように積み上げていき、昨年5年生で作文コンクールの優秀賞を獲り、全国工作作品展でも入賞しました。今ひとつだった成績も期末テストでは音楽のB以外はすべてAになり、特別なことを狙わなくても、積み上げることで能力がつき、結果が出せるようになったのです。

私もフラクタル心理学の講師、カウンセラーを目標に頑張るつもりです。私が変われば、息子も変わるのであるから、私自身がエネルギーを出し切り、毎日を本気で生きることが、息子たちへの一番の応援なのだとわかりました。



看護師
機能訓練師

柴山 真琴 さん

群馬県在住



水泳のタイムが伸びて



夫と3人の息子たちと

■ 柴山真琴さんのブログ

美心ママの幸せの法則～心を変えて家庭も仕事も望む未来を手に入れる～

<http://ameblo.jp/medicalgarden0222/>

*パンチ法：シャドーボクシングのように、言葉を発しながらパンチをする思考の軌道修正法